

# 成城の風



発行者 青少年成城地区委員会会長 辻紀子 / 事務局 成城まちづくりセンター 3482-1348

## 子どもたちとともに地域に生きる

約40名の大人たちが集まって、子どもたちが地域で健やかに成長できるように様々な事業を行っているのが私たちの委員会です。赤いエプロンは私たちの目印。子どもたちの笑顔や明るい挨拶が私たちの活動の原動力です。



2018年12月2日(日) 第19回せいじょう地域文化祭が開催され、ステージでの発表や、もぎ店、キッズコーナー、地域で活動する団体のPRコーナーなどで盛り上がりました。その中でも特に中学生スタッフの活躍したコーナーを紹介します。

### もぎ店



皆にあげた時に、笑顔で「ありがとう！」と言ってくれた。



協力することや、接客の大変さを感じることができた。

学生スタッフのアンケートより



売り上げ利益の全額 41,521円を平成30年7月豪雨災害義援金(日赤)に寄付しました。

前庭のテントから「クレープいかがですかぁ」「フランクフルト買ってくださいーい」と今年も中学生スタッフが元氣よくもぎ店をきりもりしました。定番のコーンクリームスープ、フランクフルト、わたあめに加えて、今年はクレープ、タピオカドリンクも販売。事前に中学生実行委員で試食し、今年のテーマ「WA(和)」に合わせてクレープはあんこと栗、リンゴの2種類に決定。タピオカドリンクもどの味が一番売れるか予想し、仕入れの割合も中学生スタッフが決めました。前日の看板作りやクレープ包み紙折りに始まり、売り切れてからの片付けまで、中学生スタッフが「次何やりますか？」と積極的に働く姿をとても心強く感じました。また、お手伝いくださったお父さんお母さん方にも、中学生を温かく見守りつつサポートしていただき、感謝しています。

このように、地域の方々と中学生とが一緒になってひとつのことで作り上げ、やりとげることができて、地域文化祭ってすてきなあとあらためて、地区委員として関わられたことに感謝の気持ちで一杯です。

## ステージ



支える仕事はいいと思った。



機材を触るのが楽しかった。仕事の合間にみんなと楽しく話せて居心地がよかった。

学生スタッフのアンケートより



舞台の裏側を見たり体感でき新鮮だった。



幼児からシルバー世代まで様々なジャンルの19団体の舞台を影で支えた中学生スタッフ。司会・照明・音響・上手(舞台設営)係を担当し、前日リハーサル・当日本番と長時間、緊張しながらも、大人スタッフと協力して、素晴らしい舞台を作り上げてくれました。最初はスタッフ応募数が少なく心配しましたが、委員のスカウト活動のおかげで徐々に増え、当日は理想の人数に。それぞれの持ち場でプロ顔負けの仕事ぶりに惚れ惚れしました！

## 会場



今年の装飾テーマは「和」。赤黒緑を基調に、調和、人の輪を円形の飾りやループで表しました。

中学生スタッフもそれぞれ個性の光る看板を作って会場を華やかに装飾してくれました。そして何より会場を盛り上げてくれた4人のスタンプラリー担当委員の皆さん。凝った仮装は来場者にも好評でした。

## キッズコーナー



人にわかりやすく何かを伝える力がついたと思う。



「私はこんなゲームを考えてきました。」「割り箸弓矢はどうですか？」中学生スタッフの積極的な提案に、何も出なかったら…という不安も杞憂に終わりました。

経験者の的確な指示、中学生の若いパワーで準備は順調に進み、迎えた当日、大勢の子ども達で賑わい大盛況！とても嬉しい気持ちになりました。

各コーナーで活躍する中学生の行動力、PTAの方々に助けられ、とても楽しい時間でした。



しおり作りで、教えるのも作るのも楽しかった。

学生スタッフのアンケートより



## Seijo Let's



Seijo Let'sをご存知なかった方も、今年の地域文化祭で、活動の一端を見ていただけたことと思います。

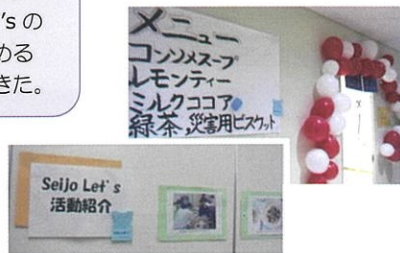
「ん？せいじょう レッツ？」まだお気づきでない方、砧総合支所4階奥の避難所カフェ、ココアが人気で、避難所で重宝するであろうグッズを作ったり、実際の間仕切りまで展示され、そこでじっくりゆっくりボードゲームができる場所…といえば思い出していただけるでしょうか。

北海道への募金にご協力いただいたことなら覚えておられるのでは？これら全て中学生、高校生たちが考えて形にしたものです。

これからも地域のボランティアに参加し、新企画をたてていきます。皆さまも応援ご協力よろしくお願いします。

地域の色々な人と  
ふれあうことが  
できた。

お客さんに  
Seijo Let'sの  
活動を広める  
ことができた。



募金いただいた 7,045 円を平成 30 年北海道胆振東部地震災害義援金(日赤)に寄付しました。

## 共催事業

成城さくら児童館  
ちいきこどもまつり  
11月11日



千歳っ子まつり  
9月29日



明正小まつり  
10月20日

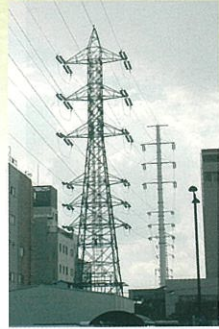


「成城の風」第20号を記念して、平成24年度の「素まっぶ」を掲載します。テーマは『みんなできがそう成城のむかし』です。

「素まっぶ」とは子どもたちが書き込む白地図のことで、実際に成城のまちを歩いてテーマにそったものを探し、その感想を発表し合うワークショップです。

成城のまちの様子はどんどん変わってきますね。ほんの5～6年前なのにもう「むかし」のことのようです。

●古い鉄塔と新しい鉄塔



●たたみ屋さん



●火の見やぐら



●手こぎポンプ



●祐中学校で古墳の発掘



●松が植わった小さな山



たんけん・ほけん  
成城のまち  
青少年成城地区委員会  
素まっぶ 第20号 子どものワークショップ  
2013. 3. 2

テーマ  
みんなできがそう  
成城のむかし

たたみ屋さん  
たたみのふしを懸、213所を  
見せてくれた。長い針でクワクワ  
お店には 指針と古い心の時計  
もある。とりのアサヒに 足さんにも  
八角のふし時計が 1つは100年  
以上前のも。今も時を刻んでいる。

成城の  
むかし  
17-Floor  
まとめ



第1号は平成18年11月でした。題字「成城の風」は当時担当された地区委員さんの手書き文字で、今でも大事に引き継がれています。「青少年地区委員会ってなあに？」というタイトルの4コマ漫画で、活動が紹介されています。

平成19年10月発行の第3号では「せいじょう地域文化祭」についてスタートから当日までの様子がわかりやすく表現されていました。



第9号からはカラーに！中学生が手描きのイラストで「せいじょう地域文化祭」をレポートしてくれました。

「成城の風」第1号から第20号まで、世田谷区のホームページからもご覧いただけます。

問い合わせ先：青少年成城地区委員会 事務局：成城まちづくりセンター  
TEL. 03-3482-1348 SEA01051@mb.city.setagaya.tokyo.jp  
この原稿は3月1日に作成されています。

